

1. 学部学科の名称

| | 学部 | 学科 | 課程 |
|--------|--------|-------|----|
| 三育学院大学 | 看護学部 | 看護学科 | |
| | 看護学研究科 | 看護学専攻 | |

2. 看護学部の教育目的

三育学院大学における教育のねらいは、設立母体であるSDAのキリスト教の教育理念に基づき、聖書の示すところの人間の「全人的回復」にある。この目的のもと、神を全ての価値の源として真理を探求し、自己と他者の尊厳を重んじ、より良い社会の形成のために貢献できる人材を育成することである。

看護学教育においては、対象者の「全人的回復」を願い、生理的・心理的・社会的・スピリチュアルな側面において調和の取れた健康を目指し、キリスト教における愛と看護学における知識と技を用いて、個人・家族・地域・国際社会に働きかけることができる看護専門職を育成することを目的とする。

3. 看護学部の7の教育目標

1. 堅実な人生観と広い視野をそなえた世界観を確立する。
2. 霊的、知的、身体的次元の均衡ある発達と、文化的、社会的、心理的領域もふくめた人間全体の成熟をめざす。
3. 人間の陶冶と奉仕の精神の涵養に努める。
4. 専門分野のゆたかな知識と確かな技術を修得する。
5. 倫理的な思考力と深い洞察力と実際の応用力を身に付ける。
6. 自らの意思を的確に伝達し、積極的で建設的な人間関係を築く能力を育成する。
7. 本学での学びをファーストステージと捉え、卒業後においても向上心と研究心を堅持し、より広いステージにおいて活躍できる力を培う。実践する。

以上は、本学固有の共同体的教育環境を生かしつつ、キリスト教教育、学科教育、労作教育、生活教育およびその他の教育プログラムをとおしてなされる。

4. 看護学研究科の教育目的

本学は単科大学であるため、大学院は看護学部を基礎にさらに発展させるものである。大学院では、キリスト教精神を基にした建学の理念に則り、看護学の深奥を究めるために、学術の理論並びに応用を教授研究し、もって人類の保健医療福祉分野に貢献する人材育成を目的とする。

5. 看護学研究科の教育目標

研究科看護学専攻（修士課程）においては、学部ではジェネラリストの看護職者の育成を目標としているが、大学院では、学部で育成することが困難な高度な能力を有する人材を育成する。教育目標は、ホリスティック・ナーシングの視点をもち、実践の場で抱いた問題意識や実践の根拠について、研究的に発展させ、実践と研究が融和する高度の実践能力を修得し、指導的看護実践ができる人材と専攻分野の各看護学を精深し、研究能力を有する教育者・研究者を育成する。